

2019年度第1回霞ヶ浦自然観察会実施結果報告

「コイののっこみ」を実施しました。

日 時：2019年4月20日（土曜日） 午前10時から午後3時まで

場 所：かすみがうら市戸崎の湖岸水路および土浦市田中の新川

参加者：20名

結 果： 天候に恵まれ、温かい日差しの中で行われた観察会でありました。川尻川でバスを降り、蓮田の中の道を堤防沿いの水路まで歩く途中に、早速、目についたのは大きな鳥が飛んでいる姿でした。トビが上昇気流を求めて飛んでいたのです。ツバメもえさの虫を求めて、蓮田の上を低く飛んでいました。道路脇でセリがたくさん生えているのを見つけ、千切って匂いを嗅ぎセリであることを確認しました。

堤防に到着し、各自たも網を持ち、堤防脇の水路で魚採りを開始すると、魚を入れるバケツを準備する間もなく、「採れた」と声が上がり、次から次へと魚が採れました。一人の子供が「こんなの取れた」と重そうにたも網を持ってきました。中を見ると草がいっぱい、よく見るとたくさんの魚の卵が付いていました。しばらくすると、別の子供が「カメが採れた」と叫んで来ました。3cm位の小さなクサガメでありました。今度は「ウナギが採れた」と大騒ぎの声が聞こえ、持って来たのは60cm位の大きなタウナギの死骸でした。20cmくらいのギンブナも数匹採れ、バケツの中はたちまち魚でいっぱいになりました。貝が採れたと持って来たのは、ドブガイの貝殻でしたがよく見ると、内側に魚の卵がたくさんつていました。モツゴの卵のようです。

たくさんの魚が採れたところで、講師の中村先生から、採れた魚などをそれぞれ解説していただきました。タイリクバラタナゴは二枚貝のドブガイなどの鰓に卵を産むことを聞きました。最後に、飯田パートナーが事前に採ってあった、大きなコイやゲンゴロウブナ、ギンブナを観察し、コイを抱える子供もいました。

午後はバスで土浦市田中へ移動し、新川でコイの観察を行いました。前日までに雨が降っていなかったため、上がって来るコイの数が少なく、多くの人は見られなかったようですが、最後になり1匹ですが、浅瀬にいるコイをみんなで、見ることができました。また、別な水路には多くのカメが岸にいました。泳いでいるカメの首が赤かったため、外来のアカミミガメのようでした。

堤防脇のコンクリート水路に大きなコイから、ウナギに似ているタウナギや小さなモツゴまでいろいろな魚がいることに、多くの参加者が驚いていました。また子供たちはたくさんの魚が採れたことを喜んでいました。良い1日となったようです。

観察した魚など：コイ、ギンブナ、ゲンゴロウブナ、ドジョウ、モツゴ、ヨシノボリ、ヌマチチブ、タイリクバラタナゴ、メダカ、スジエビ、アメリカザリガニ、ドブガイ、クサガメ、アカミミガメなど

他にタウナギの死骸

次に観察会の様子を紹介します。

(腰塚昭温)



みんなで魚採り



カメも採れたよ



草や貝に付いた魚の卵



採った魚の観察



コイを抱えて